

# 市議団ニュース

木村奉憲・22-8567、杉野 修・58-9010

石田利春・52-7260、渡辺昌代・21-9058

## 新年度予算は 437 億円に

(主な会計の予算額)

| 会 計 予 算 名     | 予 算 金 額      | 事 業 の 内 容     |
|---------------|--------------|---------------|
| 一般会計予算        | 437 億 500 万円 | 特別会計以外の一般事業   |
| 国民健康保険特別会計    | 148 億 499 万円 | 国民皆保険の医療制度    |
| 介護保険特別会計      | 65 億 8598 万円 | 40 歳以上の介護保険制度 |
| 後期高齢者医療特別会計   | 11 億 5877 万円 | 75 歳以上の医療制度   |
| 下水道事業特別会計     | 41 億 969 万円  | 汚水や雨水の処理事業    |
| 農業集落排水事業特別会計  | 6 億 3973 万円  | 農業振興地域の汚水処理等  |
| 土地区画整理事業特別会計  | 5 億 1007 万円  | 土地の区画を変え整備する  |
| 水道事業会計(事業収益分) | 37 億 311 万円  | 川や地下水を飲み水にする  |

◆六月三日から始まった合併後新久喜市の「予算議会」は七月九日に閉会しました。

◆市長からは43議案、議員提案は三議案(日本共産党市議団からの意見書)が出され審議されました。党議員団は、「合併後の住民負担増はさせない」を合言葉に、先の市議選での公約を4人で分担しながら実現に向けて全力を尽くしました。

「市議選公約」「住民の暮らしと福祉優先の市政」に全力！

### 今回の予算は

1市3町からの持ち寄り  
「合算方式」で合計をした  
ものですが、総じて  
☆「開発優先」型  
☆福祉・暮らしは「後回し」型の予算です。  
日本共産党久喜市議団は、部分的な前進面も評価しながら「市民の切実な要望にこたえていない」として予算には反対しました。

### 一般会計予算の主な特徴

- ◆国が地方に用意した財源の有効活用が見られません。
- ◆課税関連や国保・年金、住民基本台帳などの電算事務事業が特定企業に委託され、契約価格も企業の言い値です。(約4億円以上)
- ◆憲法改悪に向けた国民投票の準備経費に235万円
- ◆上位法が終了しているのに部落解放同盟に約300万円が渡されます。(報告書に領収書なし！)
- ◆「緊急通報システム」有料に
- ◆小学校の修繕費1校当たり年間わずか38万円です。
- ◆トイレの「洋式化」は切実な要望ですが計画がありません
- ◆農業振興費など予算は合併前より削減。熱意もなし。
- ◆市立保育園「さくら、すみれ、あおば」の耐震改修が必要なのに計画さえありません！
- ☆学校の耐震事業や、久喜駅のバリアフリー化、東鷲宮駅の橋上化事業前進もありました。

### 国民健康保険会計予算では

◆現在新市の国保税の滞納者は、旧久喜21、2%、旧菖蒲14、6%、旧栗橋14、1%、旧鷲宮16、4%です。そしてすでに資格証明書発行世帯は新久喜市全体で102世帯。短期保険証は435世帯にもなります。

◆重い負担になっている国保税の引き下げは多くの市民の切実な願いですが、市の姿勢はそれに応えるものになっていません。

また、合併後の「不均一課税」は、同じ市民でありながら、税負担額が異なり、会計上も一般会計からの繰り入れ額が違うなど問題です。  
議員団では国保会計に反対しましたが、他の会派はすべて賛成でした。

# 日本共産党議員団が取り上げた一般質問



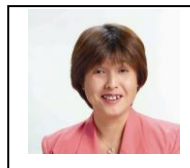
木村奉憲議員

## 国保税 1 人当たり 1 万円の引き下げを

◆極めて高い国保税は市民のいのちと健康を奪い生活を破壊する。国保税 1 人当たり 1 万円を引き下げて欲しいとの市民要望を踏まえた質問に対し「税率を下げることについては、2 年以内の調整方針でいろんな角度から検討し、対応したい。」と答弁。低所得者ほど「払いきれない」滞納者。

旧久喜市で 100 万円以下が 62, 7%、200 万円まで 17, 5%と合計 80, 2%を占め、新久喜市では短期保険証が 435 世帯、資格証明書発行が 102 世帯。

この解決のためにも粘り強い市民の大きな引き下げ運動が必要です。



渡辺昌代議員

## 問 1、少人数学級の実施を

◆現在の子どもたちを取り巻く環境、貧困や格差の広がり、犯罪やいじめ、不登校など、一人ひとりがかかえる問題は膨大になっています。その中でいき届いた指導や学力向上の点でも少人数学級運営は必要です。ぜひ市独自でも実施を。また南中学校の現状にも早急の対応をして欲しいが。

(答) 少人数の学級、指導体制は必要と考えます。特に特例措置となった学年は継続できるよう県にも強く要望しています。

## 問 2、「ヒブワクチン」予防接種と子宮頸がんワクチンの予防接種に公費助成を。

(答) 現在のところ助成は考えていません。国や県の動向を見守っていきます。



石田利春議員

## 75 歳以上の方にも引き続き助成を

◆国民健康保険から後期高齢者医療保険制度へ移行すると、保養所及び人間ドックなどの助成がなくなるのはなぜですか。益々元気で暮らして欲しいと、むしろ助成を手厚くするのが普通ではないですか。国からも特別調整交付金が出ます。ただちに補助を実施すべきとの問いに「今後検討し、何とか助成を考えていこうと、今検討しているところである」と答弁がありました。



杉野修議員

## 問 1 JR 東鷲宮駅の「橋上化」の早期実施を

この課題は住民のみなさんと約 10 年間取り組んできましたが、合併後の新市で「橋上化」、地下道バリアフリー化に向けていよいよ本格的な調査を実施することが決まりました。これからはがんばります。

(1000 万円で調査が決定しました)

## 問 2、大雨水害対策の具体化を

旧鷲宮町の中でも中央 1 丁目や西大輪、わしみや団地周辺の対策が遅れていました。今回の質問でそれぞれ対策に踏み出していくことになりました。